

10th LOVE STORY FILM FESTIVAL

2019.Apr.

東京(予定)

Tokyo(TBD)

※内容は変更される場合があります。
※The contents situation may be changed.

25.jun.2018 ver.

introduction

世界の経済状況は最悪な路線をたどる。強欲資本主義の崩壊。大型倒産。日本もこの影響を受けており、経済のみならず、人の「生き方」自体が見直され始めている今日、日本人の平和的な生き方は、世界の調整役、中和役として注目され、国際舞台でも活躍が期待されている。

その日本から、「愛」を世界中へ発信し、擦り減った心を浄化し、身近な愛を再確認しようと、この映画祭は考案された。

近年、映画祭は世界各地で開催されているが、その中で、最も人類にとって普遍的要素である「愛」をテーマにした映画祭は数少ない。

「愛」は、特別なものではない。映画愛・家族愛・兄弟愛・平和・環境・社会貢献・恋愛など、身近なところに満ち溢れている。

その身近にある「愛」をテーマに、世界共通言語である「映画」の「お祭」を開催することで、人々が楽しんで参加することができ、その結果「愛」を再確認し、積極的に社会的役割を果たす。世界に誇れる映画祭を、日本を、アピールすることができるものと私たちは信じている。

趣旨・Purpose

本映画祭は、参加者が様々な愛のかたちに触れ、楽しむことで、「愛」について考えるきっかけをつくります。また積極的な社会活動への参加を呼びかけ、愛に満ち溢れた社会の創出を目的とします。

コンセプト・Concept

『 Life is “Love Story” . 』

人生は愛の物語である。

概要・Overview

- 名称 第10回ラブストーリー映画祭
- 主催 第10回ラブストーリー映画祭実行委員会
- 期間 2019年4月 内2日または3日間(予定)
- 開催会場 東京 (予定)
- 協力 ボランティアスタッフ、フニユウ、 INDIA-JAPAN CULTURAL ORGANIZATION
- 協賛 五月堂、久之浜キャピタル
- 後援 日本映画協会、INDIA-JAPAN CULTURAL ORGANIZATION

第10回ラブストーリー映画祭の取り組み

第10回目のラブストーリー映画祭は、基盤づくりの強化として以下のイベントを開催いたします。

『作品上映』

公募作品の中から、審査員により作品を選抜上映。

『観客賞』

上映される全作品が対象となり、観客による投票によってその最大投票獲得作品が決定され、賞が授与される。

『特別賞』

上映される全作品が対象となり、実行委員会による投票によってその最大投票獲得作品が決定され、賞が授与される。

『食事会』

参加者・関係者、著名人などを招聘した食事会を開催。

作品上映・Screening of works

LOVE STORY FILM FESTIVAL 『上映作品』 出品規約 <出品資格>

出品作品は、以下の条件を満たすこと。

- (1) 趣旨を理解していること。
- (2) ラブストーリー、または愛を描いていること。
- (3) デジタル（DVD・BD等）長編・短編映画作品であること。
- (4) 作品ゲストとして、製作者や出演者が本映画祭の上映の際に来場、登場すること。
※海外および遠方地域からの出品者は可能な限り、参加すること。
- (5) 本映画祭の上映に来場、登場したゲストは、本映画祭の普及活動・チャリティーイベント等へ参加し、楽しむこと。
※海外および遠方地域からの出品者は可能な限り、参加すること。
- (6) 出品者国籍、製作国等は国内外を問わない。
- (7) 製作年は問わない。
- (8) 言語は、自由。ただし、日本語以外の場合は、字幕入りを原則とする。
- (9) 字幕は、日本語または英語を原則とする。
- (10) 上映作品の全ては、観客賞及び特別賞の対象となる。
- (11) 今回各賞を受賞した者は、次回の当各賞のプレゼンターとして登壇すること。

を満たす、公募作品の中から、審査員が作品を選出・上映。

機関・Organization

主催

第10回ラブストーリー映画祭実行委員会

事務局

フニュー株式会社

協力

ボランティアスタッフ・フニュー株式会社 ・ INDIA-JAPAN CULTURAL ORGANIZATION

協賛

合同会社五月堂・久之浜キャピタル合同会社

後援

日本映画協会 ・ INDIA-JAPAN CULTURAL ORGANIZATION